

令和8年度全国学力・学習状況調査 羅臼町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:24人 中学校数:1校、生徒数:43人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

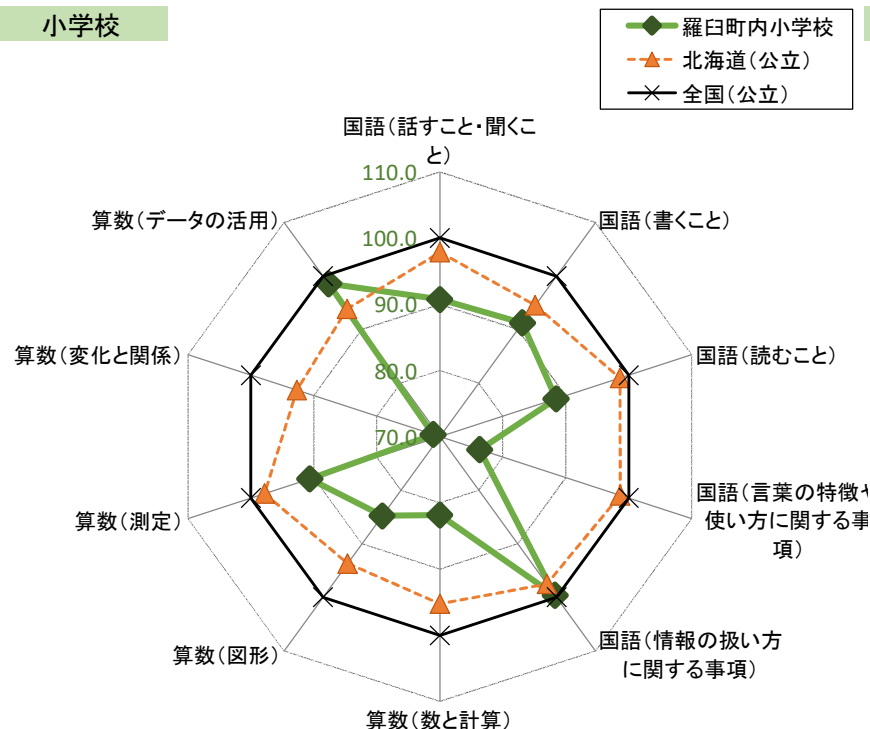
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

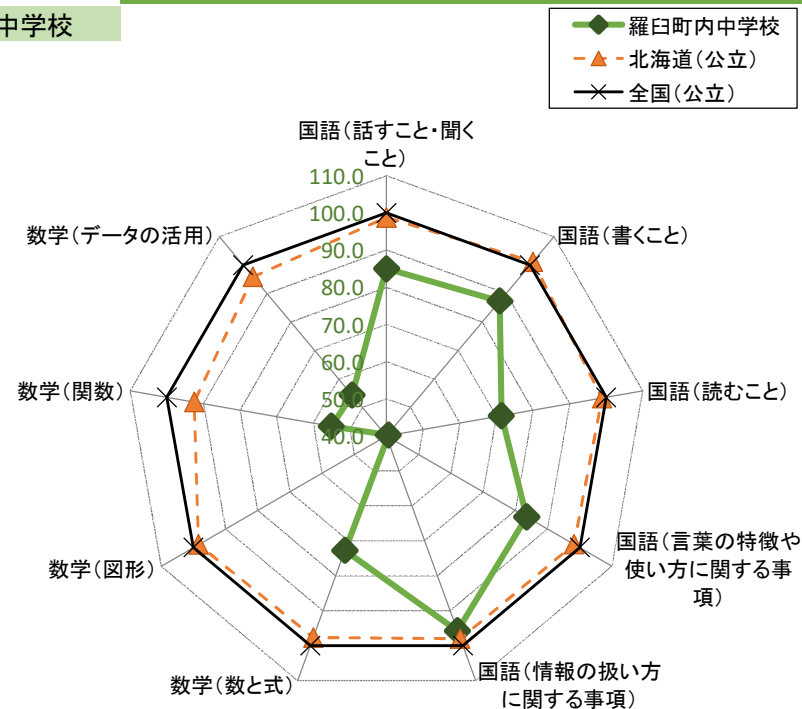
※中学校英語は4技能(聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと)の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
羅臼町	53	49	53	33	396
北海道(公立)	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



中学校

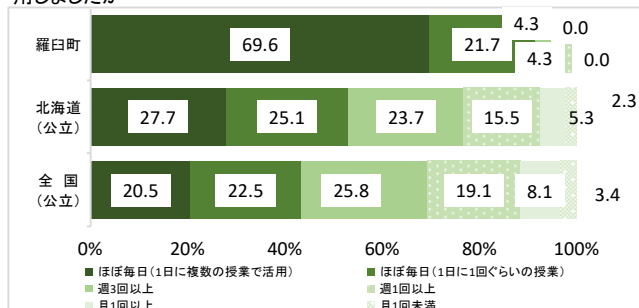


○ 質問調査の状況

小学校

<児童質問>

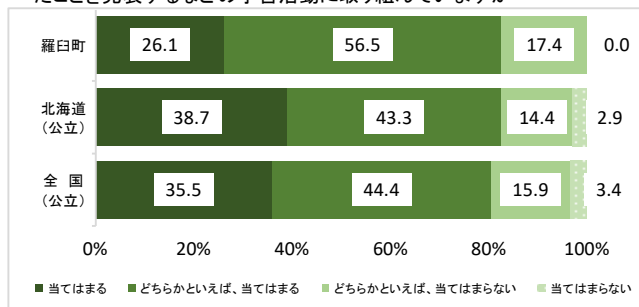
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



小学校

<児童質問>

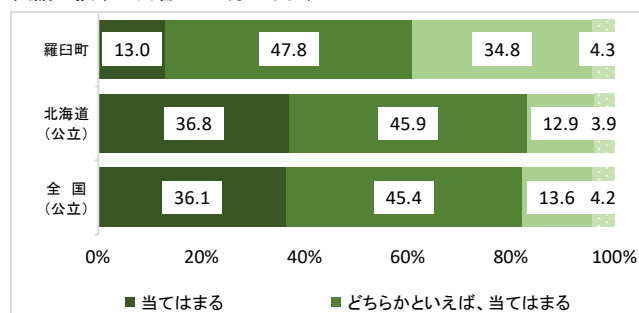
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



小学校

<児童生徒質問>

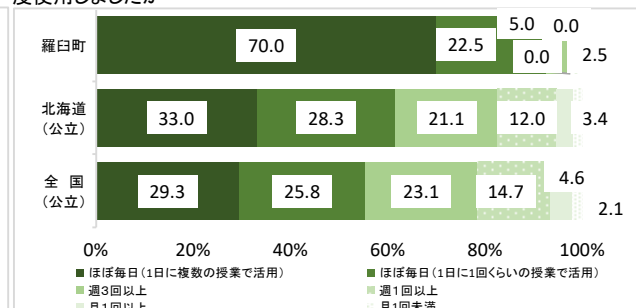
国語の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<生徒質問>

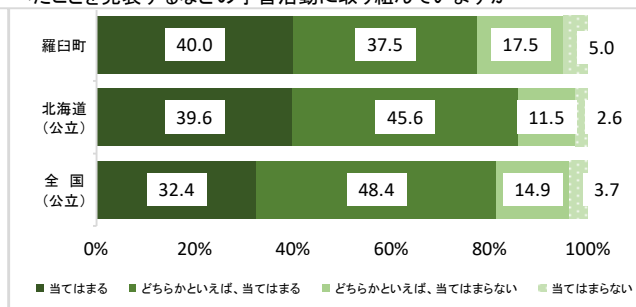
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



中学校

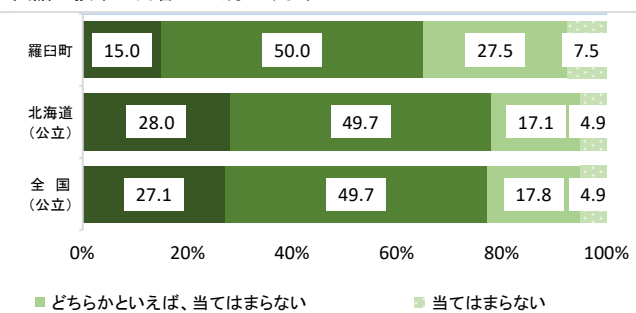
<生徒質問>

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



中学校

国語の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童一人一人に配備されたタブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、総合的な学習の時間に自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるまたはどちらかというに取り組んでいると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、生徒一人一人に配備されたタブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校国語の平均正答率が全国全道を下回っている状況は、国語の授業の内容はよく分かると回答した児童の割合が、全国及び全道を下回っていることが要因の一つとして考えられる。同じく中学校国語の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、国語の授業はよく分かると回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っていることが要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 「羅臼町学力向上プラン」に基づき、児童生徒の学習に対する興味関心を高める授業内容の改善に取り組む。児童生徒の学習に対する理解を高め、習熟度に応じた学習計画を自分で立てることができ、計画的に学習が進められるようICT機器の活用を検討する。これらの方策を実施することで確かな学力の向上を図る。
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直したり、次の学習に結びつけたりすることができるよう、振り返りの時間の充実を図る。